

# 令和4年度主催事業「ワンヘルス&環境プロジェクト講座」

○期 日：令和4年8月6日（土）～7日（日）

○開催場所：英彦山青年の家

○参加者：12名（中学生4名、高校生8名）

- 目 標：（1）ワンヘルス学習を通して、英彦山に生息する動植物の保全活動の意識を高める。  
（2）体験活動を通して、子ども達が目標に向かって得られる達成感や成就感を感じさせる。  
（3）ワンヘルス学習を通して、異年齢と交流しながら、思考力を高め、課題解決の糸口を見つける。

## 【活動1】：「フィールドワーク 英彦山の自然を体感しよう！」

講師：福岡県保健環境研究所 環境生物課 研究員 須田 隆一 氏  
福岡県環境部自然環境課 主任主事 小柳 智幸 氏

須田氏、小柳氏より、青年の家周辺に見られる希少植物についての観察実習がありました。英彦山の豊かな自然の森林を実際に観察することで、自然への関心を持つことができました。

また、シカによる獣害調査では、ブナ林の劣化を目にし、被害の深刻さを感じることができました。



## 【活動2】：「マイクロプラスチックを捕まえよう ～ 海だけではなく、大気中を浮遊するマイクロプラスチック～」

講師：福岡工業大学 環境科学研究所 研究員 永淵 修 氏

永淵氏より、大気汚染の問題についての講義がありました。また、演習では実際に青年の家の屋外にて、収集機器を使って大気を回収しました。その後、浮遊していたマイクロプラスチックゴミを抽出するまでの実験をすることで、体内に取り込まれた量を算出し、人体への影響を考えました。



### 【活動3】：「ワンヘルスと生物多様性の保全」

講師：福岡県保健環境研究所 環境生物課 専門研究員 中島 淳 氏

中島氏より、生物多様性とその保全に関する講義がありました。また、アライグマのはく製を間近で見ました。目の可愛いアライグマは、雑食で、農作物に数億円の被害があり、生態系にも大きな影響を及ぼしていました。各地でペットから野生化した問題について考えさせられました。



### 【活動4】：「森を学ぼう、木に触れよう（クラフト作り）」

講師：福岡県農林水産部 飯塚農林事務所 林業振興課 係長 濱地 秀展 氏

飯塚農林事務所の濱地氏より、森林の働きについての講義がありました。森林の働きについての話や植林、生育、収穫までの林業サイクルの重要性について教えて頂きました。近年では、林業が地球温暖化対策として大きな役割を果たすことを再認識しました。後半は、全員で木椅子作りを楽しく体験しました。



### 【活動5】：「昆虫の分類と生物多様性」

講師：九州大学 農学研究院 資源生物科学部門 農業生物科学  
教授 廣渡 俊哉 氏

廣渡氏より、生物多様性の保全に対する大切さについての講義がありました。

また、2つの班に別れて、図鑑を参考にしながら、標本箱にある約20種の昆虫を見て、分類分けをする演習を行いました。見たこともない昆虫が沢山いました。顕微鏡で見た羽根の美しさに感動しました。



### 【全体を通して】

2日間、著名な講師を迎え、ワンヘルスに関する講義・演習を終えることができました。参加者からは、「このプロジェクト講座に参加し、有意義な学習ができた。」「環境や生物のことについて知っておくことは大事だと気付くことができた。」「他にも沢山の環境問題があると思うと、私ができることは何だろうと興味や意欲が湧いた。」などの声を聞くことができ、充実した事業となりました。